

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

山田町自然を守る会（四日市市）

設 立 2007年（平成19年）

取組面積 田：87.70ha 畑：0 ha

主要施設 水路：36.9km 農道：17.4km

構 成 員 土地改良区、営農組合、水利組合、自治会、慶寿会、女性の会、子供会、消防団 総勢34名

私たちが活動する地域は、山間に足見川、鎌谷川一級河川の両側に広がる水田に水稻、麦を中心にした農業を営んでいます。

今年で4期目の活動にはいります、構成員の参加も多くなり各団体の理解も得るようになってきました。

農地、水路、農道の維持管理で遊休農地の発生を防ぎ、年中どこかで花が咲いている町づくりを続けています。

高齢化により、離農、兼業農家の減少が進み、耕作放置の用地が増えてきています。地域資源を地域で支える体制づくりを皆さんの協力で推進を続けることがいかに大変か、構成員をはじめ町内の多くの方と共有していきたいと思っています。

年間計画に沿って様々な取り組みを行っていますが、その代表例を紹介させていただきます。

1. 農用地

農用地の法面が急傾斜で数メートルの高さがある所では、いのししがミミズ、コウズルの球根を探し大きな穴を掘っていきます。大雨による欠損部の補修、草刈りはもちろん維持することが大変です。



地権者による電柵設置、土のうでの補修、草刈りによる維持を行っています。



2. 水路

用水路はU字溝などで施工されていますが、排水路は底打ちされていなく、土砂がたまりそれに草が生え排水の流れが滞ります。スコップでの泥上げは大変な作業で、時にはユンボで対応して、底打ちを行っています。



3. 農道

長年使用されていない農道が三ヶ所ありました。農道の路肩、それに沿った山林からの倒木、竹などで通行不可になっていました。数年で一箇所ごと通行できるように、倒木処理、竹伐り、草刈り、側溝の泥上げ、砂利置き、重機などで整備を行い通行可能にして、車が通れるようになり、森林沿いに散歩できるようになりました。



4. 環境保全活動

景観形成活動を中心に地域の皆様とのつながりを大切にしたいと願い取り組んでいます。

ひまわり植栽、コスモス植栽で開花時は地域の内外の方に喜んで頂いています。地域で栽培した野菜、ミカン等

を集めミニ青空市場を開きます。その時にいのしし焼肉、焼き芋、ジャンボシャボン玉、餅つきをコロナ対策を行いながら随時行っています。



今後の活動として、リーダーの若返りを図りながら、担い手と協力して、地域の資源の良い所、整備が必要なところを話し合いながら、構成員それぞれが、参加意欲が持てるよう進めていきたいと思っています。